

健康なまちづくり審議会【第1回】議事録(要点)

1 開催日時 令和6年9月25日(水)13時30分から14時30分

2 開催場所 保健会館 1階検診室

3 出席者

【委員】習志野市医師会 三束 武司(会長)

習志野市歯科医師会 齋藤 守

習志野市薬剤師会 武田 未佳

千葉県済生会習志野病院 小林 智

千葉大学大学院看護研究院 岩瀬 靖子

公募委員 田中 明子

株式会社エイチアンドエス 清水 繭子

習志野市高齢者相談員協議会 佃 和子

特定非営利活動法人習志野イースタンスポーツクラブ 三輪 彌太郎

特定非営利活動法人ItoI 武井 剛

市民カレッジ20期生 楫賀 健雄

【事務局】健康福祉部 部長 小平 修、次長 奥井 良和

健康支援課 課長 河栗 太一、主幹 板倉 尚子、主幹 伊藤 千佳子

主幹 仲川 陽子、主幹 林 睦代、主幹 篠塚 美由紀

主査 佐々木(企画・管理係)

【傍聴者】0名

4 会議内容

第1 会長の選出

第2 副会長選出

第3 会議の公開(非公開)

第4 会議録の作成等

第5 会議録署名委員の指名

第6 協議(1)健康なまちづくりのための健康意識調査票について

(2)健康なまち習志野計画策定スケジュール(案)について

第7 その他(事務連絡等)

5 会議資料 健康なまちづくり審議会【第1回】に関する資料(別添資料)

会議次第

資料1 R6 習志野市 健康意識調査(一般)案

資料1-2 R6 習志野市 健康意識調査(親子)案

資料1-3 R6 習志野市 健康意識調査(事業者)案

資料1-4 R6 習志野市 健康意識調査(市民活動団体)案

資料2 健康なまち習志野計画策定スケジュール(案)

6 会議内容

開会

【河栗健康支援課長】

これより令和6年度第1回習志野市健康なまちづくり審議会の会議を開会いたします。

本会議は規定により、委員8名以上の出席が成立要件となっております。

ただいまの出席委員は11名であります。よって、本会議は成立しております。

また、本審議会は平成25年度第1回の会議において、原則公開するものと決せ決定しておりますのでご了承ください。

現時点において傍聴の希望者はありません。また、会議の開催中に傍聴の希望がございましたら、定員に達するまで随時、入室をいただきますので、こちらもあらかじめご承知おきください。

第1 会長の選出

選出方法は指名推選とする。

三束委員の推薦あり。（異議なし）

会長は三束委員。

第2 副会長選出

選出方法は会長一任とする。（異議なし）

副会長は長岡委員。

第3 会議の公開（非公開）

原則公開とする。

第4 会議録の作成等

要点筆記とする。

第5 会議録署名委員の指名

齋藤委員

第6 協議（1）健康なまちづくりのための健康意識調査票について

健康支援課長が資料1、資料1-2、資料1-3および資料1-4に基づき「協議（1）健康なまちづくりのための健康意識調査票について」を説明

【三束会長】

資料1の市民2000人の選び方について伺う。

【河栗健康支援課長】

対象は15歳以上、90歳以下の2,000人を無作為抽出する。

調査票を紙で発送して回答も紙で考えている。

【三束会長】

平成30年の調査で20歳以上だったものが15歳に変更になるということか。

【河栗健康支援課長】

その通りです。

【岩瀬委員】

今紙面という説明でしたが、Webなどを活用のパターンもあると思うが、やはり紙面のみということか。

【河栗健康支援課長】

Web回答も検討したが、調査票の集計等を委託している事業者を確認したところ、Web回答だと一時保存ができないことが分かった。設問数も多く、回答している途中でやめた場合、また最初から回答していただく必要があるため、今回は紙で行うことを予定している。

Web回答については、検討課題とさせていただく。

【岩瀬委員】

一般2ページ問10番と11番の身長と体重を問う項目は、それまでの設問に比べ唐突感を感じるため、次の「体の健康に関する意識」の2、健康状態についてに移動してよいのではないか。

【河栗健康支援課長】

そのようにさせていただく。

【小林委員】

健康意識の経年的変化を調べるのが主でよろしいか。

【河栗健康支援課長】

その通りです。

【小林委員】

健康意識はコロナによって、この5年で大きく変わったと思う。

最後に、「この5年間コロナによって健康意識が変わりましたか」のような質問を入れるのは可能か。医療従事者としては非常に興味ある。

もう1点は、心の健康に関する意識についての質問の順番が、最初に自殺から来ているので、順番を変えた方が答えやすいのではないか。最初に悩みやストレスに関すること、そのあとに鬱病、自殺、関連の問題と順番を変えた方が、答えやすいと思うがいかがか。

【河栗健康支援課長】

設問項目を追加するのは、特に問題ない。

コロナの期間を経て、健康状態、健康意識について今どうお考えですかのような、自由記述の項目を増やすようにしたい。

また、設問の順番についても、順番の変更も検討する。

併せて、実は市川市の「いのち支える市川自殺対策計画」という計画があり、アンケート調査も実施している。市川市より項目が多く、削除を含め順番、設問について検討したいと考えている。市川市との比較も可能となる。

(削除を検討している設問)

・問44、問47、問48、問52、問53、問54、問58、問58-1、問60

【三束会長】

削除等についてご意見はありますか。

(意見無し)

特にご意見がないため、市としては、削除する方向で検討をお願いする。

【河栗健康支援課長】

削除の方向で検討させていただく。

【武井委員】

鬱病や自殺に関して「医療機関に相談しますか」という設問を「どこに相談しますか」という問いかけに変更して、選択肢の中に医療機関、相談支援機関や市役所の窓口など、相談可能な機関を示すという形を啓発も兼ねていかがか。

【河栗健康支援課長】

健康意識調査は単なる調査だけではなく、啓発の意味も込めて作っており、鬱になった方が相談できる場所を明記しておくというのは非常に重要と思っている。

意見を参考に変更するように調整したい。

【岩瀬委員】

啓発の意味もあるということで、調査票に簡単な説明が入っており、非常に該当される方も勉強になると思うが、その説明が所々意図的に省いているのかどうかというところを確認させていただきたい。

【河栗健康支援課長】

意図的ではありません。

説明書きも追加したい。

【三束会長】

ただいまの意見を踏まえて、今後検討をよろしくお願いいたします。

では、続いて協議事項2について事務局からご説明お願いいたします。

(2) 健康なまち習志野計画策定スケジュール(案)について

健康支援課長が資料2に基づき「協議(1) 健康なまちならしの計画策定スケジュール(案)について」を説明

【三束会長】

審議会として集まるのが5回ということでよいか。

【河栗健康支援課長】

その通りである。

第7 その他(事務連絡等)

健康支援課長から策定したスケジュールに沿って進めること、今年度末に健康意識調査の結果報告をする旨説明。